

総合学習 『卒業研究』

<到達目標>

大学で自分が学びたい学問領域から、自らテーマを設定して「卒業研究」とする。大学進学後も、他校から来た学生をリードしていく姿勢を持ってもらいたい。また、他の生徒の研究・発表を正当に批評できる力もつける。意見を発信する力を培っていく。

総合選抜型入試、学校推薦型入試で活躍するものでもある。「わたしは〇〇に興味を持っていて貴学の△学部を志願しました」⇒「わたしは〇〇に興味を持っていて、総合学習を通じ□□を研究して、貴学の△学部を志願しました」となるように)

<使用教材>

課題研究メソッド（生徒全員購入済み）、インターネット（p 144～）、その他本・文献

※総合の時間は、全クラスが図書室、PC室を流動的に使用できるよう各室に担任以外の監督者がいる。

<実施の流れ>

導入

全体会で旧3年生の発表を視聴し、どのような卒業研究を目指すべきか、ループブックをもとに確認する。

テーマ決め 総合5時間（標準）（p 31～）

5時間（標準）かけてじっくり決める。テーマ選びが最も難しく、研究の50%以上を占めるといってもよい。テーマを1時間で決め、そのせいで途中テーマ変更をしたり、内容が深まらずにすぐに研究が終わってしまったりする生徒がいる。

◎研究は1人で行い、テーマは生徒自身の希望進路に関係しているものとする。

各教科からの基礎テーマを参考にし、『大テーマ（学術分野）』を決定

↓ 担任と面談し、文献（本1冊以上）を調べ、テーマを具体的にしぼる（p 52～）。

↓ 早くテーマが決まる生徒ほど浅い考えの傾向あり。自分自身や周囲からの『なぜこのテーマにしたのか？』問いかけが重要。抽象的で具体性のないマジックワードの言い換えがポイント（p 19）。

『研究テーマ』決定 テーマに対する問題点・課題・疑問・仮説を明確にする

なぜそのテーマにしたのかを説明できるようにし、そのテーマに関連する『キーワード』（p 42～）を3つ以上取り上げ、意味を説明できるようにする。その段階でクラス内にて研究テーマの発表会を行う（1人1分）。総合型選抜・学校推薦型入試受験者は夏休みで有意義に研究をすすめ、夏休み明けにクラス内で中間発表をできるようにし、受験の材料にする。

研究開始 中間発表まで夏休みをはさみ 総合3時間（標準）

ただネットで調べて終わりではなく、自分で疑問を検証するために、何かしら調査、実験、フィールドワーク、インタビュー、アンケートなどの活動を取り入れることが研究である。研究手法（p 71～）

中間発表 総合2時間（標準）1人2分 発表（p 121～）

全員パワーポイント発表を行う。発表の仕方や評価の仕方を学ぶ。『中間発表評価シート』を使い、生徒同士が質問や改善点を共有する。面接の練習となるのはもちろん、他者の発表をきちんと批評し、発表者もそれを受け止めていくことで、社会人としての素養を身に付ける。

発表 総合 発表準備2時間 発表4時間 準備5分+1人5分（厳守）×7人+後片付け10分=50分

全員パワーポイント発表を行う。事前に提示してあるループブック使用し、お互いに評価し合う。『～なのではないだろうか』という進路に向けて疑問（展望）で終わるとよい。クラスの状況によって11月のLHRを使用して準備や発表を行う。